

# やすらぎ

平成 22 年 10 月 1 日  
〔第 138 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実  
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

## 第 14 回生涯学習セミナー開催

9 月 16 日、17 日と第 14 回生涯学習セミナーを御所市アザレアホールにて開催し、市民を中心に 218 人が聴講しました。

今年のセミナーの実行委員長は、細川家成参与さんが積極的にお引き受けになり、開催の運びとなりました。

細川実行委員長から、「モラロジーを良く知らない人、新しい人を対象に開催する」との、抱負を話され、まず、参加者のお誘いに、時間をかけられるように、また準備時間をスムーズにするため、昨年と同じスタッフの役割にされました。

数回のセミナー打ち合わせ会議でも、「セミナーを開催するに当たっての心遣い」や、「道徳実行の必要性」などを、お話しいただき、内面からのセミナーに向けての心構えを、勉強させていただきました。

開催当日は直前までの酷暑もなりをひそめ、穏やかな秋日和になり心配した出席率も高く申し込みの 80% になっています。

今回ご出講いただきました、木村好雄講師（日本橋モラロジー事務所）は、富士俊隆さん宅にご宿泊いただき、久野信夫講師（モラロジー研究所 生涯学習本部）は米田徳七郎さん宅にご宿泊いただきました。



初日 16 日は朝から雨が降っていましたが、開催時には雨もすっかり上がり、さすが！、実行委員長の人徳、雨に遭うことなく、セミナーを開催しました。

ほぼ満席の会場は明るい雰囲気でも若い人も高齢者も



皆、熱心に講師の話に耳を傾けていました。2 日目の講義の後の花 30 鉢の抽選も好評でした。

今回は初参加の方が 73 名、33.4% と当初の目標にはとどきませんでした。例年以上に若い方が多かったのは良かったと思います。ただ、一人で運転してきた人が多かったため、駐車場が大混乱しました。

反省会では良かった点が多くあげられましたが、やはり反省すべき点が多々あり来年の宿題となりました。

上田 均

## 平城宮蹟を訪ねて・・・

今回は細川家成参与が、すすんで実行委員長をお引き受けいただきました。組織は昨年の役割をそのまま引き継ぐこと、出来るだけ新しい受講者をお誘いすることと早い段階から委員長方針を出していただきました。私達もその方針に従ってお誘いしたのですが、残念ながら今までの受講経験者しかお申し込みを頂くことが出来ませんでした。毎回お誘いしているのに、会員または維持員になっていただけていないということは、お誘いの仕方自体がその場しのぎのになってしまっているせいだと思います。今後はまずはセミナー以外の行事へのお誘いをし、事務所とのつながりと先輩会員方々とのつながりを持てる関係を築きたいと思います。

さて、私が担当しました講師接待係、会食係は例年同様、女性部さんがいろいろと工夫と心遣いをした準備や当日接待をしていただきました。講師控え室がクーラー故障というアクシデントは窓を開け、風通しを良くして快適な状態にしてくれ安心いたしました。任せて安心女性部さま！



講師係は宿舎、事務所、会場の送り迎えが主たる役割でした。木村講師、久野講師とも、穏やかな優しい講師でした。木村講師はなかなか歴史に詳しく、奈良の公式ガイドの認定を持つ松村さんとたくさん意見交換をしておいででした。私は今回のセミナーで久野先生が格言で取り上げられました「一年一行仁恕を本となす」が印象に残っています。いま満足に出来ていなくても一つ一つ積み重ねていくことによって自己の品性を向上させ、運命を開くことができる。

未熟な私共ですがこの格言を念頭に、今後も努力したいと思います。ありがとうございました。

山下幸則

参加者内訳	参加者合計	218名		男性 138名 (63.3%)	女性 80名 (36.7%)	初参加 73名 (33.4%)	維持員 12名 (5.5%)	
	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
		4名	36名	41名	45名	26名	66名	218名
		1.8%	16.5%	18.8%	20.6%	11.9%	30.2%	100%

# 富士は日本一の山

## 登頂

富士山はやっぱりスケールが違った。圧倒的な存在感と懐の深さ、山容の美しさ…。今夏、富士山は大きな懐を広げて私たちを迎えてくれた。

8月21日早暁、御来光を仰いでいよいよ登山開始だ。5時20分に長田山荘を出発し、本6合目、7合目、8合目と高度を上げていく。天気は快晴、登頂への絶好のチャンスだ。前方見上げる空は絵に描いたような青空、後方眼下には白い雲がふわふわと浮いている。ここは雲上の世界、別天地だ。

始めは快調だった足が、8合目あたりからはなかなか思うように動かなくなってきた。ふと気がつくとも胸も痛い。高度順応ができていなかったのか、ただのトレーニング不足か、ひょっとして高山病か…などと不安になりながら少し歩いては立ち止まり、また歩いては休んで息を整えて、何とか登っていく。9合目の鳥居は見えているのに、なかなかたどり着けない。自分では

休まず歩こうと思うのに、体が言うことを聞いてくれない。やっぱり富士山は並の山とはわけが違う。

午前11時45分、ようやく山頂の鳥居をくぐった。先に到着していた吉井さんが出迎えてくださった。登頂の嬉しさと安堵感からか、思わず涙がでそうになった。体力の衰えは否めず、思ったよりも時間がかかってしまったが、とにかく目標は達成できた。こんな申し分のない天気にも恵まれた幸運とこの富士山に連れてきてくださった皆さんにただ感謝するばかりだった。



## お鉢巡り

富士登山は数度になるが、富士山の山頂を回る「お鉢巡り」をきっちりと行なったことがなかった。今回初めて丁寧に山上を歩いた。

須走り道を上がったところは、人人人で混雑していた。まず、涌田さんと浅間神社にお参りし(正式には富士山本宮浅間大社東北奥宮という)、さて、とあたりを見渡していると、先に上がった上島さんが、「わ、よかった、見つかった」と駆け寄って来た。3人で、お鉢巡りに出る。右手に取って(時計回りと反対)まず、久須志岳。山頂へは通行止めになっている。残念。順路に従って、歩いていく。お鉢の中はまだ雪が残っている。今の時期の雪なので、当然万年雪になる。富士山の雪は8月でも降る。

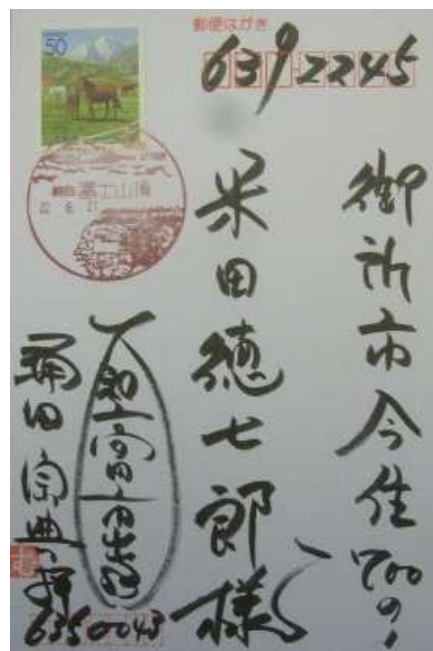


余談だが、年中降るんだったら、それじゃ富士山の初雪はいつ？気象庁では最高気温を記録した後に降る雪を「初雪」としている。従って、富士山の初雪は後になってからしか分らない。あの時の雪が初雪でした・・・なんて。

お鉢の中に金明水、カルデラの稜線に銀明水がある。山頂に水が湧くのがから不思議だ。霊力があると言う。

しっかり歩いているつもりだが、ペースが少し遅い。酸欠状態か。白山岳、大沢崩れを過ぎ、最高点の登りにかかる。着いたところに長い行列。最高点剣ヶ峰 3776mに登るのに、並ばなければならないかと思い、仕方なく、その後尾に付く。しばらくして、涌田さんがこれは記念写真を撮るための列と聞いてきた。記念写真はご用がないので、その横を素通りして、3776mの三角点に達し、更に富士山観測所の展望台にあがる。有名だった富士山レーダーは今は撤去されて無い。眼下は一面の雲海。気分がいい。

名物、馬の背の急勾配を下り、富士宮登山道の到達点の浅間大社奥宮にお参りし、富士山頂郵便局からはがきを出す。



#### 富士山頂の地名と高さ

地名	標高	由来する神仏
剣ヶ峰	3775.63m	阿弥陀如来
雷ヶ岳(雷岩)	3760m	大悲観音菩薩?
白山岳	3756.4m	釈迦牟尼如来
朝日岳	3750m	大日如来
三島岳	3740m	地藏菩薩
久須志岳	3740m	薬師如来
成就ヶ岳	3733m	勢至菩薩?
浅間大社・奥宮	3715m	木花咲耶姫
浅間ヶ岳	3715m	宝生(寶勝)如来
大内院(火口)	3535m	大日如来

記念スタンプが押され、これは値打ちですよ。勿論、はがきは50円で全国何処へでも届く。細川さんと携帯がつながり、私達の後を追ってきたようで、最高点を下りだしたところとか。郵便局前で待ち合流した。

更に巡って行くと、他の4人のメンバー(吉井、杉村、本田、鍛冶前)にバッタリ出くわす。奇遇、奇遇。私らより1時間余り送れて登頂し、こちらに歩いてきた。反対に歩けば出会わなかったところ。8人、皆で昼食を頂く事に。風もなく、天気よし、火口を見下ろしながら、おにぎりをほうばる。

須走り下山道はすぐそこ。これで、お鉢の一周は完了。写真を撮り、遊びながら、はがきを出しながらで2時間余りを要した。

#### 赤富士



登頂を果たした翌朝、私たちは御来光に染まった赤富士に出会った。葛飾北斎の「富嶽三十六景」はあまりにも有名だが、中でも「凱風快晴」と題された赤富士の絵は誰もが一度は目にして

いるにちがいない。ものの本によると「赤富士は南風の吹く晴天の朝方に起こる現象で、凱風は南風をいう。」とある。私たちが長田山荘の前で見たのも南風の吹く晴天の朝の、朝焼けに染まった富士山だったのだ。この現象は年に数回しか見られず、赤富士は非常に縁起がよいものだという。そんな正真正銘の赤富士に出会ってきた。

さて一方、北斎の描いた赤富士だが、私にはそれが単なる希有な自然現象を描いた絵には見えない。まるで闘いに勝利し「凱旋」してきた勇士が「風」を受けて誇らしげに立っているような、自然と言うよりむしろ人間の相貌が感じられる。なぜそんな風に感じるのか。北斎の赤富士は山頂への斜度が実際よりも遙かに急で、天を衝き上げて屹立しているからだ。北斎はなだらかでおおらかな裾野を持つ実際の富士山よりも、その奥に孤高の人間を描いているように私には見える。

### 夜空の星

富士登山の楽しみのもう一つに、夜空の星観察がある。

さぞかし、たくさんの星が見られるだろう。ひょっとすると銀河も、と期待してきた。到着した20日の夜、長田山荘前の広場に出てみた。全天薄雲で覆われているが、時間がたつごとに少しずつ雲が切れてきた。月齢11.0の月が煌々と照っている。空気が綺麗なので、月の明るさが下界と全く違う。ところが星を見るにはじゃま。

やがて、雲海の上に、木星が輝き出した。上空はすでに快晴になり、夏の大三角デネブ、ベガ、アルタイルが。白鳥がデネブを中心にして翼の先の星まで、はっきりと確認できる。感激。北極星もひととき大きい。なんとと言う人工衛星が分らないが北西から南東に飛ぶのがよく見えた。マイナス1等星くらいの明るさで、飛行機のように点滅はしなくハイスピード。

星は下界よりはよく見えるが、期待したほどでない。ベガとアルタイルの間にあるはずの銀河、天の川が見えない。見える星の数ももっとあってもよい。明るい月のせいかな？

朝方、4時にもう一度外に出てみた。空は綺麗に晴れ渡り、オリオンを中心に、冬のダイヤモンドのカペラ、カストル、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランの6つの星が輝いていた。実にビューティフル。

とはいうものの、富士山6合目標高2450mで、子供の頃見た御所の星空より落ちる。やはり、空気が汚れているのだろう。



### 「富士には仲間がよく似合う」

太宰治は『富岳百景』の中で「富士には月見草がよく似合う」と言った。「三七七八米の富士の山と、立派に相對峙し、みじんもゆるがず、なんとと言うのか、金剛力とでも言いたいくらい、けなげにすくと立っていたあの月見草は、よかった。富士には月見草がよく似合う。」有名な一節だ。

さて、今回私たちは10名全員が富士山頂に立てた。これは個々人の力というより仲間の



力だ。登山・下山行動はもちろん日時やコース設定、山小屋の予約といった計画・準備段階から道中の運転、家へ帰り着くまで、ご同行の皆さんには本当にお世話になりました。おまけにユーモアあふれる楽しい話で3日間笑ってばかりでした。また、宿泊先の長田山荘ではサラダやお味噌汁、手作りのおにぎりなど心のこもったもてなしを受けたうえに、下山時にルートを取り違え、急遽沢を越えて迎えにきていただくなどご迷惑もかけました。こうして多くの人たちに支えられ、無事に帰着できたことに感謝するばかりです。

富士山は古来、その秀麗な姿で日本人の心を圧倒的に引きつけてきた。これまでどれほど多くの人々が富士に登ってきたことが、また遠くから近くから富士を望み、その姿に励まされて生きてきた人々がいかに多いことか。日本人にとって富士山はその存在自体が誇りであり、心を育む父母なる山だ。そうして富士に集まる人々がいる。仲間ができる。「富士には仲間がよく似合う。」

富士山への挑戦記録

年月日	参加者	登山ルート	成果
1996年 (H8) 7月25日(土) ~26日(日)	秋田夫婦、富士夫婦、戌亥夫婦、川崎夫婦、米田夫婦、森戸夫婦、亀谷馨、八川親子5人 (18人)	表富士宮登山道	15人が登頂、最高点を極める。最年少は八川かよちゃん小学2年。
2002年 (H14) 7月20日(土) ~21日(日)	秋田勝枝、浅見潤、浅見孝子、井指武、上島春香、上田均、上田雅代、河野憲一、栗本一男、米田徳七郎、米田豊高、杉村洋、竹川直文、谷つね子、玉巻吉兵衛、玉巻小夜、富士秀子、中西弘侑、中西啓晃、花戸しげ子、細川家成、細川輝美、安川武、山口喬、山本文子、吉井靖浩 (27人)	河口湖登山道	道路の渋滞により登山開始が4時間遅れ、下山も道を間違え3人は別に新幹線で帰宅してもらおうトラブルも。 18人は登頂、高山病6人。
2010年 (H22) 8月20日(金) ~22日(日)	上島春香、本田住子、吉井靖浩、細川家成、加治前能里子、上田均、上田雅代、杉村洋、涌田宗典、米田徳七郎 (10人)	須走り登山道	10人全員登頂うち4人はお鉢巡りをして最高点に立つ。最年長は73歳。

レポート 本田住子/米田徳七郎



## ニューモラル配布

彼岸の中日まであと3日。いつもなら彼岸花がちらほらと咲きかけているのに、今年はまだ花が見えない。

ヒガンバナは朝夕の冷え込みを受けて開花する。明日香村の稲淵地区では毎秋、



田のあぜ道に100万本以上が咲いて稲穂と絶妙のコントラストを描く。今年は9月上旬の平均気温が奈良市で27.8度(平年24.4度)という厳しい残暑のため、18日から20日まで開催された、明日香の「彼岸花祭り」では、早咲きの花がちらほらある程度、という。そんな異常気象の中、今年もライフ御所店前で「全国敬老キャンペーン特別号」のニューモラルを配布することになりました。9月に開催された、生涯学習セミナーの参加者の資料にニューモラルを230部使用したため、今回の配布数は270部です。

9月20日午後3時より、吉田代表、森戸さん、三並さん、そして上田2人の少人数での配布となりました。ニューモラルの部数が少なかったため、1時間余りで全部数配布することが出来ました。

今日は、曇り空で外に立っていても、汗ばむような暑さでもなく、快適に配布することが出来ました。

みなさん、有り難うございました。

上田 均

## ツアーガイド(10)

### 奈良検定、公認ガイド

夏の納涼古本祭に、昨年より孫たちの年長者である次女の長男が加わってきた。

大勢の参集する人並みのざわめきも、糺(にれ)の森に群集する蝉の声がそのざわめきを打

ち消して、恒例とする行事の雰囲気醸し印象付けた。遺伝子を同じくする中学4年生の孫が、正午過ぎ約束の集合場所へと10冊の古本をたずさえて戻って来た。その本を妻が見るなり、「やっぱりお祖父ちゃんの孫やねえ。本の中味が全くお祖父ちゃんの趣向とそっくり同じやねん」と笑って云った。

夏の下鴨神社に老夫婦で出掛けてくるのを常としたが、この孫が赤ちゃんだった頃に、古物商の商売仲間からの聞き伝えで一人でたずねて来たのが最初で、その後二人の老人に声をかけて、いつも少年の遠足の様な気分で京都へとマイカーを走らせた。その数年間は京都の街々を徘徊して数々の思い出を残していった。

本を買う。勿論目的あってのことであろう。特に参考書ともなれば、数行でも参考になる箇所があれば、従来から買うのを常として来た。パソコンを駆使しても、奥深く探せない。

一般に歴史学者は、他人の本をよく読み、よく調べているけれども、ひとたび他人が自己主張した記事を公然と引用されて自分の文章に記載される。

名のある所長とか教授などの先生たちが書かれた文章には自己主張が多い。何しろ極少な資料から熟思して解決する運びの出来ない文章をその個人の俗性に従って横着にも異論を作り短絡な文章をつづられたりしている。

だから学者先生たちの社会では、他人の論文に論評することにより摩擦が発生、学者社会では軋轢(あつれき)が多い。

私はツアーガイドの一員として先輩たちとガイドの行動を伴にしている。150人のガイド出身の母体は、ほとんどが奈良文化財研究所の定点ガイド、奈良観光ボランティアガイドクラブ(朱雀の会)それに各地の観光地例えば法隆寺とか、山辺の道、飛鳥等で長年従事して来たキャリアある集団に、わずかな奈良検定の人たちが参加している。その数の素人集団は20名でその一人が私である。

ツアーガイドは必ず2人1組で20名の来訪者を案内して巡る。1日に午前1時間半、



午後に 1 時間半乃至 2 時間半を交互に説明分担をチェンジして巡る。だから自分で説明する時、パートナーが説明する時とに別れどちらにも新しい知識を得て勉強の機会を得る。私の話ぶりの批評もその他色々随所に相手側から評(きか)される。

彼たちは初め 1 冊の参考書から活動して、講師先生や先輩たちの指導の基に要求されるがままに成長していった。その年月は 10 年にもおよぶ。その彼らがおかれてきた環境は利益社会でも競争社会でもない、ボランティアという一念で参加し近隣にやさしく気配りする豊かな人たちの集りである。だから自分はこの 100 年に 1 度しかまわってこない記念の行事で幸福感に浸り、過去をふり返り将来へと進もうとしている。

遠くなった或る日、ある易者と話を交わした。

易学とは奈良時代以然犬養御田鍬に従って唐の長安で僧旻(みん)が仏教ばかりでなく易学をも習って帰った。易学は伝統のある学問として現存して来た。私は老後の生き方を相談した。そして将来への仮説を画して幾度となく通った。

自らの道標は自らの足跡で踏破して今に至っている。『やすらぎ』で拙い文章を先輩のみなさま方に御覧いただきてきた。

はずかしいと思って書き続けてきたけれども、これが奈良検定の論文で突破口を開いている。

今人生終局の森林限界から最後の登頂を試みようとしている。いよいよ未知の分野に今向おうとしている。

トーマス

### 運営委員会報告

9 月の運営委員会は 9 月 22 日(水)事務所で開催され 14 人が出席しました。吉田代表世話人は「生涯学習セミナーでは、お疲れさまでした。無事成功裡に終了しました。後のつながりに努力をしてください」と挨拶し議事に入りました。

#### 報告事項

- 第 14 回生涯学習セミナー終了について、細川実行委員長より「9 月 22 日(水) 19:30 から 14 名の出席で反省会を行いました。9 月 23 日(木)講師宿舍へ御礼に行きます。また、市提出の報告書を持って御所市教育委員会へ御礼に行きます。近日中に代表世話人が大阪出張所へ報告に行きます。会計残高 72,014 円は、事務所会計へ入金します」と報告ありました。
- 維持員研修会開催について、10 月 16 日(土)の参加は、正副代表世話人、次代リーダー 2 名、青年クラブ長、女性クラブ長の 6 名。10 月 17 日(日)の参加は、事務所維持員全員対象。現在 100 名。会場は事務所講堂。参加費は 2,000 円。不足分は、事務所会計から支出します。テキストとして維持員ハンドブックを必ず持参すること。
- 9 月 21 日(火)ビジネスクラブ研修会が、御所事務所で行われ、当事務所からの参加者は 6 名。
- 9 月 12 日(日)奈良県協議会女性

クラブ講演会が、郡山講堂で開催され 4 名参加してきました。

#### 審議事項

- 第 14 回生涯学習セミナー終了御礼参拝について、当初は、9 月 25 日(土)に行く予定でしたが、9 月 28 日(火)に変更します。現在 3 名参加予定。11 月 18 日(木)の講演会時の田中正人講師(三重県飯高)に挨拶に行ってください。
- モラロジー講演会開催について、10 月 21 日(木)及び 11 月 18 日(木) 会場は事務所講堂、参加目標人数は 70 名、役割は、1 部変更しますが、ほとんどセミナー時のまま。
  - その他
    - 皇室カレンダー申込みについて、代金を添えて 10 月 4 日(月)〆切で、地区委員が取りまとめる。(1 部 590 円)
    - 吉祥草寺より『茅原雛々会の唄保存会設立』のため、寄付の依頼が自治会長からあり、10,000 円の寄付をすることに全員が承認。

編集後記  
 初め・・・  
 先日葛城市相撲館で  
 相撲の地方巡業で力  
 士が披露する七、五  
 調の相撲甚句を聞  
 く。日本古来の謡に  
 もにて・・・。  
 また、赤土で石のよ  
 うに固めてある土俵  
 の上に、恐る恐る一  
 歩を・  
 よう